

平成 29 年度包括外部監査結果報告書

(概要版)

港区包括外部監査人 谷川 淳

1. 外部監査のテーマ等

監査テーマ	観光振興に関する事業の財務事務の執行について
選定理由	<p>港区は、ラグビーワールドカップ 2019 の開催や東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催、羽田空港の国際線の発着枠拡大、山手線及び日比谷線への新駅設置、品川駅が始点・終点となるリニア中央新幹線の開業などを好機ととらえ、「第 2 次港区観光振興ビジョン後期計画」を策定している。「第 2 次港区観光振興ビジョン後期計画」では、「効果的観光プロモーションの実施」、「世界的な観光都市としての環境づくり」、「観光資源の発掘・活用と観光ルートの創出」、「安全・安心で快適な港区観光の実現」の 4 つの重点施策を掲げ、観光振興を推進している。</p> <p>こうした状況は、区内産業が活性化する契機でもある。「第 3 次港区産業振興プラン」においても、都市型観光の振興施策を掲げ、観光関連産業の振興や商店街と観光の連携など、産業振興の視点からの取り組みを展開している。</p> <p>また、平成 28 年 5 月には、「第 2 次港区観光振興ビジョン後期計画」に掲げている重点施策である「効果的観光プロモーションの実施」を新たな切り口で具体化した「港区シティプロモーション戦略」を策定し、観光客に選ばれ続ける都市としての評価とポジションの確立を目指している。</p> <p>このように、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会等を大きな契機として、観光施策を展開しているタイミングにおいて、観光振興に関する事業の財務事務の執行を監査テーマとすることは、時宜にかなない、有意義であると考え。したがって、観光振興に関する事業の財務事務の執行について、有効性・効率性等の観点から検証することは、今後の港区の区政運営にとって有用であると判断し、監査テーマに選定した。</p>
監査の視点	<ul style="list-style-type: none">・ 観光振興に関する事業の財務事務の執行が、関連する法令及び条例・規則等に従い、適正に行われているか。・ 観光振興に関する事業の財務事務の執行が、経済性、効率性及び有効性の観点から、合理的かつ適切に行われているか。・ 各総合支所と支援部など庁内組織間における連携及び港区と港区観光協会や商店会、観光関連事業者等との連携が適切に図られているか。

2. 外部監査の結果及び意見の一覧

外部監査の結果及び意見の一覧は、次のとおりである。指摘が7項目、意見が51項目あり、合わせて58項目である。

なお、表中の右欄にある「頁」は、包括外部監査結果報告書(本編)における各項目の記載箇所である。

事業名等	監査の指摘または意見		頁
第3章 外部監査の総括			
(1) 観光振興の推進体制について	意見	観光振興に関する全庁的な意識向上について	12
	指摘	港区観光振興連携会議の位置づけについて	13
	指摘	観光振興連携会議打合せ記録の作成について	14
(2) 観光情報の発信について	意見	観光情報の整理集約について	19
第4章 外部監査の結果及び意見(各論)			
I 効果的観光プロモーションの実施に関する事業			
1. 観光情報発信事業	意見	観光情報誌のそれぞれの役割の明確化について	25
	意見	各観光情報誌の配布先について	26
	意見	観光情報提供用メールマガジンの登録状況の改善について	29
	意見	広報紙・地域情報紙(誌)における港区メルマガの周知について	30
	意見	港区メルマガの配信内容について	31
2. スマートフォンを活用した観光情報発信	意見	「東京 AR」の今後のあり方について	34
	意見	「港区まち歩きナビ」の利用拡大について	35
3. ワールドプロモーション	意見	ワールドプロモーションの効果検証について	40
4. 港区ものづくり・商業観光フェアの開催	意見	フェアのあり方の検討について	44
5. 港区観光協会補助金	意見	港区の観光施策における港区観光協会の位置づけの明確化について	49
	意見	港区観光協会の組織体制の強化について	50
	意見	港区の観光情報の一元的な発信について	50
6. シティプロモーション推進事業	指摘	「とっておきの港区」の回収冊数の把握について	54
	意見	「とっておきの港区」の持ち出し促進について	55
	意見	「とっておきの港区」の有効活用について	55

事業名等	監査の指摘または意見		頁
Ⅱ 世界的な観光都市としての環境づくりに関する事業			
1. 港区観光ボランティア育成	意見	修了要件の見直しについて	58
	意見	未修了者からの受講を断念した理由の聴取について	60
	意見	受講者選定方法の見直しについて	61
	意見	プロポーザル方式による事業者選定及び複数年度契約の検討について	61
2. 港区観光インフォメーションセンター運営	意見	港区・品川区・大田区合同の情報発信の促進について	64
	意見	世界貿易センタービルの建て替えに対する対応について	65
3. 多言語対応推進	意見	利用者へのアフターフォローについて	67
Ⅲ 観光資源の発掘・活用と観光ルートの創出に関する事業			
1. 地場産業・伝統工芸品産業の保護・育成	意見	伝統工芸青山スクエアとの連携について	69
	意見	伝統工芸継承者の育成について	69
	意見	冊子「港区の伝統工芸」の在庫管理について	71
2. 商店街変身戦略プログラム	意見	変身計画の対象について	73
3. にぎわい商店街事業	意見	区作成冊子における個別事業者の紹介について	77
4. 商店グランプリ	意見	区作成冊子における個別事業者の紹介について	80
5. 港区観光ボランティアガイド事業	意見	外国人の意見等の積極的な取り入れと情報発信について	83
	意見	広域的なツアーコース設定の促進及び他区の組織等との連携について	84
	意見	観光ボランティアガイドの組織化について	84
	意見	観光ボランティアガイド紹介パンフレットの配布先について	85
	意見	観光ボランティアガイド以外でのボランティアの活用について	85
6. ワールドフェスティバルの開催	意見	大使館等周遊スタンプラリーと商店街ワールドカードラリーとの連携について	88
	意見	商店街ワールドカードの配布実績等の把握について	89

事業名等	監査の指摘または意見		頁
	意見	商店街ワールドカードラリーに関する店舗への情報伝達の徹底について	89
7. 商店街・地方都市関係強化	意見	全国交流物産展の参加者へのアンケートの実施について	92
	意見	全国交流物産展に広く区内外から来場を促す工夫について	92
	意見	区内温泉のPR推進について	93
8. 歴史観光資源の活用・促進	意見	歴史フォーラム参加者の拡大について	95
IV 安全・安心で快適な港区観光の実現に関する事業			
1. 緊急時における観光客への情報の提供	意見	観光客に対する災害情報等の発信について	97
V 総合支所で取り組んでいる事業			
1. 芝地区発・新虎ディショナルプラン	意見	事業の波及効果について	99
2. 麻布地区麻布未来写真館	指摘	分科会終了後の物品購入について	102
3. 赤坂地区もっと知りたい 赤坂・青山	意見	「赤坂・青山まち歩きマップ」の活用について	105
4. 赤坂地区地域情報国際化プロジェクト	意見	赤坂地区所在大使館との連携拡大について	107
5. 赤坂地区赤坂親善大使メジャー化計画	指摘	履行確認及び請求内容の確認の徹底について	109
	指摘	領収証書の空番の書損処理漏れについて	110
	意見	赤坂親善大使 Facebook の有効活用について	110
	指摘	赤坂親善大使フェイスブック運用基準の改訂について	110
6. 赤坂地区広げよう交流の輪	意見	交流活動報告内容の周知・報告について	113
7. 高輪地区高輪今昔物語	意見	デジタルアーカイブへのアクセス方法について	115
	意見	AR 動画の効果検証について	116
8. 旧協働会館保存・活用事業	意見	旧協働会館の観光面での活用について	118
9. 芝浦港南地区水辺のまち魅力アップ事業	意見	観光振興の観点からの事業実施の検討等について	120

3. 外部監査の結果及び意見の要旨

下記は、あくまで要旨にすぎないため、具体的な内容や根拠については、包括外部監査結果報告書(本編)を参照のこと。

【外部監査の総括】

項目	(1) 観光振興の推進体制について
意見1	観光振興に関する全庁的な意識向上について
内容	観光振興は、観光政策担当のみの力でなしうるものではなく、全庁的な取り組みが欠かせないことから、観光政策担当以外の部門においても、観光振興の担い手としての当事者意識をもち、全庁的な推進体制で取り組むことを期待したい。
指摘1	港区観光振興連携会議の位置づけについて
内容	区と港区観光協会が開催している港区観光振興連携会議は、区の観光施策に関する相互協力や連携についての議論を行う場として重要な役割を担うものであるため、その位置づけを明確にする必要がある。
指摘2	観光振興連携会議打合せ記録の作成について
内容	港区観光振興連携会議では、区の観光振興に関する役割のあり方など、今後の観光施策・事業展開にとって有用な議論がなされているため、議論した内容を有効に活用できるよう、打合せ記録を作成する必要がある。

項目	(2) 観光情報の発信について
意見1	観光情報の整理集約について
内容	区では多種多様な観光情報を発信しているが、観光情報が重複あるいは分散しており、観光客にとってわかりづらい。情報発信の入り口は一元化するなど、情報を整理集約し、観光客にとって有用な情報発信を行う必要がある。

【外部監査の結果及び意見(各論)】

事業名	I-1. 観光情報発信事業
意見1	観光情報誌のそれぞれの役割の明確化について
内容	「港区観光マップ」、「港区観光ガイドブック」、「港区歴史観光ガイドブック」を作成しているが、それぞれの目的や役割の違い、ターゲットとする観光客などが明確でないため、明確化する必要がある。
意見2	各観光情報誌の配布先について
内容	各観光情報誌を、地域住民が主たる利用者である区有施設に一定数配布しているが、国内外に観光情報を発信するためには、観光インフォメーションセンターなど、観光客が訪れ入手しやすい場所により多く配布する必要がある。

意見3	観光情報提供用メールマガジンの登録状況の改善について
内容	観光情報提供用メールマガジン(港区メルマガ)の登録者数が伸び悩んでいるが、アクセス方法にもその一因があると思われるため、アクセスがより容易になるような方法を検討し、登録者数が増加するような方策を講じる必要がある。
意見4	広報紙・地域情報紙(誌)における港区メルマガの周知について
内容	港区メルマガでは、観光モデルルートの紹介において、商店街情報など区民にとっても興味深い内容も含まれているため、広報紙・地域情報(紙)誌においても周知する必要がある。
意見5	港区メルマガの配信内容について
内容	港区メルマガの情報量が多く、読み飛ばされるなど、有用な情報が十分に伝わらない可能性も高まると思われるため、ボリューム(字数)のあり方など配信内容を検討する必要がある。

事業名	I-2. スマートフォンを活用した観光情報発信
意見1	「東京 AR」の今後のあり方について
内容	「港区観光マップ」にスマートフォンをかざすと観光施設等の情報を動画で見ることができる「東京 AR」の利用状況が低迷しているが、改善するにも限界があると考えられるため、継続の有無も含め、事業のあり方を検討する必要がある。
意見2	「港区まち歩きナビ」の利用拡大について
内容	GPS 機能を活用した「港区まち歩きナビ」の利用状況も低迷しているが、アプリをダウンロードするだけで利用可能であるため、周知の拡大に努め、利用状況を改善する必要がある。

事業名	I-3. ワールドプロモーション
意見1	ワールドプロモーションの効果検証について
内容	「港区ワールドプロモーション映像」をより効果的なプロモーション素材として活用できるよう、視聴人数などの目標値を設定し、効果を検証し、改善を繰り返していくことで、根拠をもって継続できるプロモーションを進めていく必要がある。

事業名	I-4. 港区ものづくり・商業観光フェアの開催
意見1	フェアのあり方の検討について
内容	フェアは、港区内の伝統工芸やものづくり産業の紹介にとどまっている状況にあるため、伝統工芸やものづくり産業の技術を観光資源として捉えてもらい、観光による産業の発掘・振興に結びつくよう、フェアのあり方を検討する必要がある。

事業名	I-5. 港区観光協会補助金
意見1	港区の観光施策における港区観光協会の位置づけの明確化について
内容	港区観光協会は、港区の観光施策の一翼を担う主体であり、その役割は重要である。区の補助事業及び委託事業や区が直接実施している事業との整理等を行うためにも、港区及び港区観光協会が担う役割を明確化する必要がある。
意見2	港区観光協会の組織体制の強化について
内容	港区観光協会は、組織・人事・財務面が脆弱であるため、今まで以上の役割や機能を担うことを求めるのであれば、常勤役職員の配置や事務局職員の強化等を含む組織体制の充実や会員企業の積極的な協力が必要である。
意見3	港区の観光情報の一元的な発信について
内容	港区の観光情報の発信元が一元化されておらず、観光客にとっての利便性が低い。今後、観光情報を集約し、港区観光協会のホームページから発信する枠組みとするなど、情報発信の一元化を図ることが望ましい。

事業名	I-6. シティプロモーション推進事業
指摘1	「とっておきの港区」の回収冊数の把握について
内容	シティプロモーションツール「とっておきの港区」は、新号発刊の際に旧号を回収しているが、回収冊数が把握されておらず、観光客が持ち出した冊数や廃棄冊数も把握できないため、適切に回収冊数を把握する必要がある。
意見1	「とっておきの港区」の持ち出し促進について
内容	「とっておきの港区」は、宿泊者が実際に手に取り、区内を周遊することで、区の魅力を感じてもらうことが重要であるため、「Take Free」の文字を明瞭にするなど、持ち出し活用してもらえる方法を検討する必要がある。
意見2	「とっておきの港区」の有効活用について
内容	「とっておきの港区」は多数の残部が出ているため、ターゲットを区内のホテル宿泊者のみに限定する必要性はなく、国際交流イベントなど、区の魅力を国内外に発信できる場を利用して、有効活用する必要がある。

事業名	II-1. 港区観光ボランティア育成
意見1	修了要件の見直しについて
内容	港区観光ボランティアガイド育成講座については、座学講座だけでなく、実践的な講座(受講生自らが考えたコースを実際に巡るモニターツアーなど)への参加を修了要件とすることも検討する必要がある。

意見2	未修了者からの受講を断念した理由の聴取について
内容	観光ボランティア育成講座は、毎年2割前後の未修了者が発生しているため、未修了者から受講が継続できなかった理由を聴取し、講座運営方法等の改善に役立て、未修了者を少なくする必要がある。
意見3	受講者選定方法の見直しについて
内容	観光ボランティアガイド育成講座の受講者を抽選で決定しているが、未修了者が生じていることを考慮すると、受講希望者とのミスマッチを解消するため、面談を実施するなどの選定方法を検討する必要がある。
意見4	プロポーザル方式による事業者選定及び複数年度契約の検討について
内容	観光ボランティアガイド育成支援業務委託は、講座カリキュラムなどの質的面も重要であるため、プロポーザル方式が望ましい。また、育成講座の経験等を次年度カリキュラム等に反映させるため、複数年度契約も検討する必要がある。

事業名	II-2. 港区観光インフォメーションセンター運営
意見1	港区・品川区・大田区合同の情報発信の促進について
内容	3区合同インフォメーションコーナーが設置されているが、パンフレットの配架にとどまらせるのではなく、3区合同イベントを開催するなど、より積極的な活用を行い、港区の魅力を向上させるような情報発信方法を検討する必要がある。
意見2	世界貿易センタービルの建て替えに対する対応について
内容	世界貿易センタービルの建て替え期間中及び建て替え後の観光インフォメーションセンターの設置場所については、東京モノレールとの協議を進めるとともに、適切な設置場所が確保できない場合の対策等を検討しておく必要がある。

事業名	II-3. 多言語対応推進
意見1	利用者へのアフターフォローについて
内容	英語での説明が難しい商品についてオーダーメイドの英語対応マニュアルを作成し、上手く使いこなせるようアフターフォローも実施しているが、事業効果を広げるためにも、多くの店舗が利用できるような方法を検討する必要がある。

事業名	III-1. 地場産業・伝統工芸品産業の保護・育成
意見1	伝統工芸青山スクエアとの連携について
内容	伝統工芸青山スクエアは、港区内の施設であるが、港区の伝統工芸に関する紹介はなされていない。港区の伝統工芸に関する情報発信を強化するためにも、伝統工芸青山スクエアとのより一層の連携を図る必要がある。

意見2	伝統工芸継承者の育成について
内容	近年、伝統工芸士の高齢化により、伝統工芸の見学や体験等の実施が困難な状況になってきているが、港区の伝統工芸を保護・育成していくため、他区の取り組みを参考に、伝統工芸継承者を育成する取り組みを検討する必要がある。
意見3	冊子「港区の伝統工芸」の在庫管理について
内容	冊子「港区の伝統工芸」について、今後の必要部数を客観的に把握することで追加印刷が必要か否かの判断材料とするため、定期的な在庫数量の確認と在庫数量を記録した管理簿を作成する必要がある。

事業名	Ⅲ－2. 商店街変身戦略プログラム
意見1	変身計画の対象について
内容	商店街変身戦略プログラム事業計画では、単に多くの人を商店街に呼び込むということを漠然と訴えているような内容となっているが、事業の有効性を高めるため、取り組みの対象を明確にする必要がある。

事業名	Ⅲ－3. にぎわい商店街事業
意見1	区作成冊子における個別事業者の紹介について
内容	「まちあるき MAP」に個別事業者を掲載しているが、区が実施する事業で個別事業者を紹介する場合には、公平性をもっと実質的に考慮することと、民業圧迫にならないようにすることを念頭に明快な基準を設けて実施する必要がある。

事業名	Ⅲ－4. 商店グランプリ
意見1	区作成冊子における個別事業者の紹介について
内容	「港区商店グランプリ受賞店舗ガイド」には個別事業者の紹介が欠かせないという背景はあるが、区が発行するのであれば、個別事業者を紹介する場合には明確に基準を設ける必要がある。

事業名	Ⅲ－5. 港区観光ボランティアガイド事業
意見1	外国人の意見等の積極的な取り入れと情報発信について
内容	観光ボランティアガイドの外国人利用の促進のためには、外国人の実際の意見等を積極的に取り入れ、ガイドコース設定や説明方法等に反映するほか、外国人に外国語で情報発信してもらうなどの方法を検討する必要がある。
意見2	広域的なツアーコース設定の促進及び地区の組織等との連携について
内容	観光ボランティアガイドの利用促進のため、港区内だけでなく隣接地域も含めた広域的なツアーコースを設定することや他区のボランティアガイド組織と連携しツアーを共同開催することを検討する必要がある。

意見3	観光ボランティアガイドの組織化について
内容	「港区観光ボランティアガイドの会」の規模の拡大により、意思決定の明確性、責任の明確性、会員の統制能力等の面で求められる水準が高くなることから、区は観光ボランティアガイドの会の法人化等について検討する必要がある。
意見4	観光ボランティアガイド紹介パンフレットの配布先について
内容	観光ボランティアガイド紹介パンフレットを配布する際には、協力先のホテルを区内に限定することなく、外国人観光客の移動実態等を踏まえ、区外のホテルを含めて配布先を選定する必要がある。
意見5	観光ボランティアガイド以外でのボランティアの活用について
内容	外国人観光客の増加に対応するためには、観光ボランティアガイドによるまち歩きガイドだけでなく、外国人観光客に対する通訳や道案内・乗換案内などの人的サポートを行うボランティアの育成を検討することが必要である。

事業名	Ⅲ－6. ワールドフェスティバルの開催
意見1	大使館等周遊スタンプラリーと商店街ワールドカードラリーとの連携について
内容	大使館等周遊スタンプラリーと商店街ワールドカードラリーは、それぞれが独立しているが、更なる賑わいの創出をもたらすため、連携を図り、両方のイベントに参加してもらう方法を検討する必要がある。
意見2	商店街ワールドカードの配布実績等の把握について
内容	商店街ワールドカードの各店舗への配布実績を把握するとともに、各店舗にアンケートを実施するなどして、用意すべき枚数等を検討し、商店街ワールドカードラリーを効果的に実施する必要がある。
意見3	商店街ワールドカードラリーに関する店舗への情報伝達の徹底について
内容	一部の店舗で詳細が伝えられないまま参画になっていた事例があったが、商店街が一体となって商店街ワールドカードラリーを盛り上げていけるよう、イベント内容等に関する情報伝達を徹底する必要がある。

事業名	Ⅲ－7. 商店街・地方都市関係強化
意見1	全国交流物産展の参加者へのアンケートの実施について
内容	毎年開催している「全国交流物産展 in 新橋」の運営方法等を改善し、レベルアップを図るため、実施結果の評価にあたっては、物産展来場者と地方都市等の参加団体の両者に対して、アンケートを実施する必要がある。
意見2	全国交流物産展に広く区内外から来場を促す工夫について
内容	全国交流物産展は、オフィス街である新橋という土地柄から近隣に勤務する人が来場者の大半を占めていると推測されるが、観光振興の観点からは、近隣だけでなく、広く区内外から来場を促す工夫が必要である。

意見3	区内温泉のPR推進について
内容	区内温泉を「ハレノヒ」に掲載しているが、十分に周知されているとはいえないため、「とっておきの港区」など各観光情報誌への掲載も検討し、区内外へのPRを推進していく必要がある。

事業名	Ⅲ－8. 歴史観光資源の活用・促進
意見1	歴史フォーラム参加者の拡大について
内容	抽選の結果、歴史フォーラムに参加できなかった応募者がいるが、可能な限り希望者に参加してもらえるように、契約履行開始日を早くしたり、開催会場を区が自ら手配したりするなどの方法を検討し、参加者を拡大する必要がある。

項目	Ⅳ－1. 緊急時における観光客への情報の提供
意見1	観光客に対する災害情報等の発信について
内容	港区の観光アプリ内に防災情報コンテンツが未整備となっているため、観光庁が提供している外国人旅行者向け災害時情報提供アプリ(Safety tips)の周知を図るなど、観光客向け災害情報提供について検討する必要がある。

事業名	V－1. 芝地区発・新虎ディショナルプラン
意見1	事業の波及効果について
内容	にぎわい創出のため「芝の名店 探訪マップ」を作成したが、引き続き、新虎通り周辺の老舗とともに新たな歴史を刻んでいく店舗の育成について、また経済活動支援の側面を含めた地域の活性化について、取り組んでいく必要がある。

事業名	V－2. 麻布地区麻布未来写真館
指摘1	分科会終了後の物品購入について
内容	分科会の終了後に分科会用物品を購入しているが、分科会活動に真に必要な物品であり、特に毎年度実施している自主活動に必要な物品であれば、年度末付近に購入するのではなく、計画的に購入する必要がある。

事業名	V－3. 赤坂地区もっと知りたい 赤坂・青山
意見1	「赤坂・青山まち歩きマップ」の活用について
内容	地域住民向けの情報として「赤坂・青山まち歩きマップ」を作成したが、観光のための情報としても活用度が高いため、港区の観光情報誌として活用できるよう、観光政策担当へ情報提供を行うなど連携を図る必要がある。

事業名	V-4. 赤坂地区地域情報国際化プロジェクト
意見1	赤坂地区所在大使館との連携拡大について
内容	交流イベントを通じて、赤坂地区所在大使館との良好な関係が構築されているため、このつながりを活かして、大使館等周遊スタンプラリーへの参加を促すなど、連携を拡大する必要がある。

事業名	V-5. 赤坂地区赤坂親善大使メジャー化計画
指摘1	履行確認及び請求内容の確認の徹底について
内容	赤坂親善大使活動支援業務委託において、結果として請求内容に誤りはなかったが、業務報告書と実績一覧表及び請求書の記載内容が整合していないものがあったため、履行確認及び請求内容の確認を徹底する必要がある。
指摘2	領収証書の空番の書損処理漏れについて
内容	赤坂親善大使キャラクター物品の有償配布で使用していた領収証書が使用できる状態になっていたが、不適切に領収証書を発行できる状態にあるため、空番が生じた際には適切に書損の処理を行う必要がある。
意見1	赤坂親善大使 Facebook の有効活用について
内容	赤坂親善大使 Facebook を検索エンジンで検索すると旧アカウントが表示されてしまうなど、現アカウントの情報発信力が低い状況となっているため、SEO 対策や旧アカウントの閉鎖を検討する必要がある。
指摘3	赤坂親善大使フェイスブック運用基準の改訂について
内容	「赤坂親善大使フェイスブック運用基準」では現行のアカウントが規定されておらず、旧アカウントのままとなっているため、旧アカウントの取り扱いを検討するとともに、運用基準を改訂し、現行のアカウントを規定する必要がある。

事業名	V-6. 赤坂地区広げよう交流の輪
意見1	交流活動報告内容の周知・報告について
内容	交流事業に参加した郡上市中学生による交流活動報告内容には有用な意見もあるため、地域間交流事業を行っている部署など全庁的に活用できるよう、広く周知・報告し、相互理解をより深め、地域間の交流促進を図る必要がある。

事業名	V-7. 高輪地区高輪今昔物語
意見1	デジタルアーカイブへのアクセス方法について
内容	高輪地区の変遷がわかる写真を「高輪地区歴史・文化資産デジタルアーカイブ」として蓄積・保存しているが、アクセスが煩雑となっているため、アクセス方法の見直しを検討する必要がある。

意見2	AR 動画の効果検証について
内容	高輪今昔物語運営支援業務委託において、AR 動画の作成を試みたが、ワークショップ参加者にどのような効果をもたらしたのか明確でないため、今後の事業展開の判断材料とするためにも、事業効果を検証する必要がある。

事業名	V-8. 旧協働会館保存・活用事業
意見1	旧協働会館の観光面での活用について
内容	まちづくりの一環として旧協働会館の活用が検討されているが、港区の観光資源としての活用の観点からは、観光政策担当や港区観光協会がバックアップするような体制を構築することも必要である。

事業名	V-9. 芝浦港南地区水辺のまち魅力アップ事業
意見1	観光振興の観点からの事業実施の検討等について
内容	芝浦港南地区の水辺エリアは港区全体の観光資源としても潜在力が高いため、観光政策担当が主体となって、観光振興の観点からの事業実施について、具体的な検討を行う必要がある。

以上